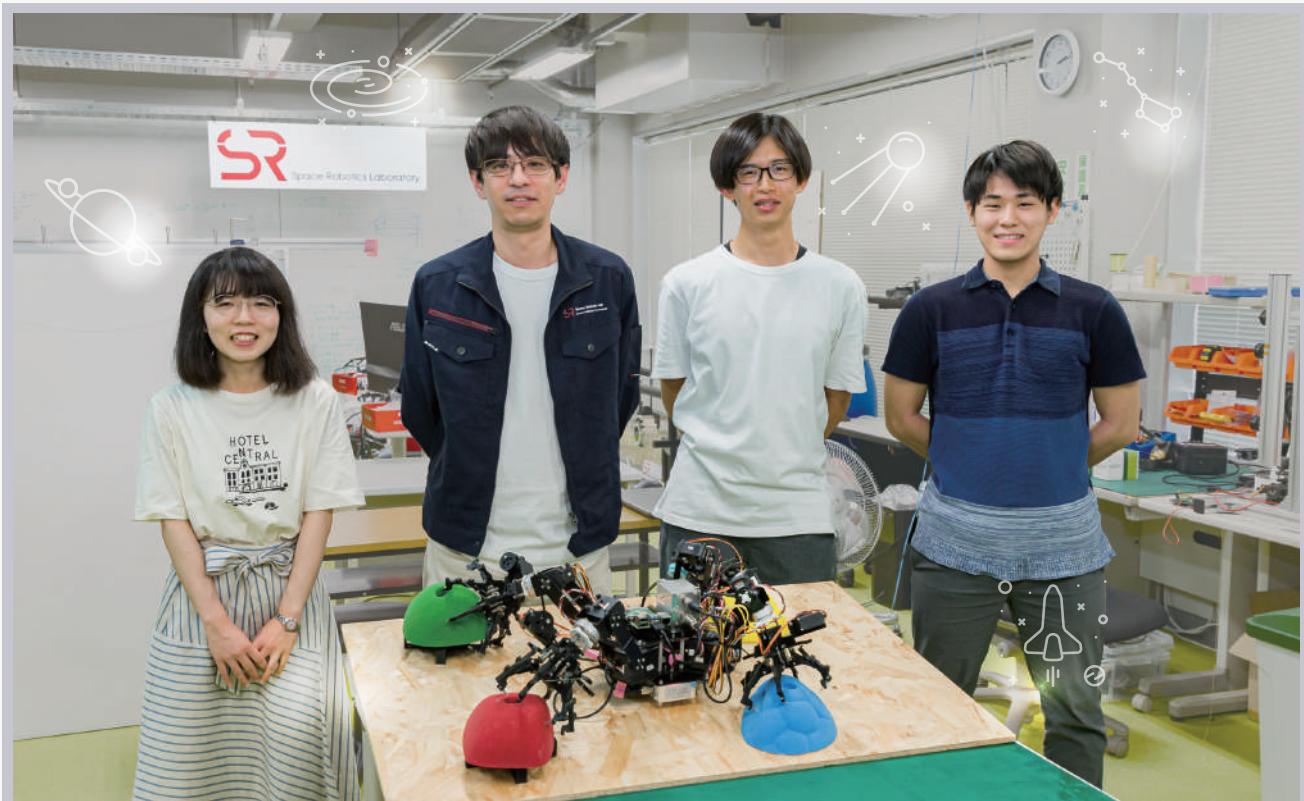


# K 九州大通信 YUTECH TIMES

VOL.60  
2022.10.1  
AUTUMN

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY



／ツナガル広がる／  
**GYMLABO** Kyutech 活用術



04 Voice of Graduate  
九州経済産業局  
産業部経営支援課  
家入 雄一郎さん

06 Topics  
旦過市場の  
にぎわいを、再び。

07 Career Design  
数字でみる就職  
「就職DATAにみる  
九工大の就職力」



## 飯塚キャンパス 共創空間「ポルト棟」

2022年4月に飯塚キャンパスに新設した共創空間「ポルト棟」(ポルトはラテン語系で「港」)。1階は多目的に活用できるオープンスペースやワークルームを備え、2階は就職支援事務室や5室のミーティングルーム(テレビ会議機能あり)と、ポルト棟全体が産業界を含めた学内外のさまざまな人々の交流の場となります。ポルト棟がそれら人々のムアリング(繫留:mooring)の場になることで、新たな人々の流れが生じ、これらを核に多様な交わりによる知識や技術が重なり合い、シナジーが生まれ出される場となることを目指しています。

### ABOUT 設備概要(総面積:1,025m<sup>2</sup>)

#### 1F



- コワーキングスペース  
-常時40名収容可能  
-イベント開催時は  
最大80名程度収容可能



- ワークルーム  
-24名×4室  
-コワーケーション・  
ルーム

#### 2F



- ミーティングルーム  
- 6名×4室  
- 8名×1室



- キャリア支援室・  
就職支援事務室



- 開放感のある  
300m<sup>2</sup>のテラス

**ジムラボのお姉さん**

学生のみなさんから「ジムラボのお姉さん」と親しまれている受付のお二人をご紹介!

私たちがご案内します!

**左 宮良有紀菜さん**  
出身:山口県  
趣味:スポーツ観戦、キャンプ  
九工大生の印象は?:みんな勉強熱心で頑張り屋さん!

**右 阿部陽帆さん**  
出身:佐賀県鹿島市  
趣味:食べ歩き  
九工大生の印象は?:仲良くなったら話好きな子が多い!

※運営委託:(株)ATOMicaスタッフ



### ロゴマークのヒミツ!

戸畠キャンパスの原風景⇒松林⇒松ぼっくりを意匠のテーマに。ロゴデザインにも黄金比を活用!

### 学生も一緒につくれています!

展示スペースのツールや、ランドスケープ、案内サインなど学生さんのアイデア・作品も多数!

運用2ヶ月での  
利用者数  
**10,000人を突破!**

### いたるところに黄金比!

旧体育館には黄金比を用いた「曲率・曲線」が多く内在しており、GYMLABOにも黄金比を随所に採用。※黄金比(1:1.618)



GYMLABO  
サイトはこちら

# 特集 九工大 Now ツナガル広がる GYMLABO Kyutech 活用術

創立110周年記念事業として休眠していた旧体育館の再生プロジェクトが2019年にスタート。

多くの方々のご協力のもと大胆なリノベーションを施し「産学官の交わりの形成拠点」として、2022年5月にオープンしました。

多様な人々が交わる GYMLABO(ジムラボ)を拠点に、産学官一体となった新たなオープンイノベーションを創出していくます。

### 今後、シェアオフィスに企業も入居予定

ますます広く社会とつながる場所になっていきます!

### PRICE LIST 利用の手引き(学生・一般)

九工大在学生や教職員は原則無料(一部貸し切り等は有料)で利用できます。企業・一般の方は、KyuTechコラボ(産学官連携推進会)へのご入会で会員価格にてご利用いただけます。 KyuTechコラボについての詳細は[こちら](#)



#### ▼利用料金表

区分	コワーキングエリア	ミーティングルーム	セミナールーム
会員*	無料	500円~/1時間	750円~/1時間
非会員	500円/日	1,000円~/1時間	1,500円~/1時間

### TOPIC



#### ピアノ再生プロジェクト 「復刻ノオト」

開学50周年の際に寄贈されたオーストリアの名器ベーゼンドルファーですが、長い年月のなかで利用できない状態に…。今回のGYMLABO開設にあわせてピアノ再生プロジェクトもスタート。生まれ変わったこのピアノはGYMLABOの中で様々なものを繋ぎ、結びつけるためのツールとして活用していきます。

▲指定時間帯であれば誰でも自由に演奏可。ミニコンサートなどイベントも!



アウトドアっぽくて  
リラックス。  
ブレストに最適



中規模でラフな  
勉強会に最適。  
たくさんのホワイト  
ボードも大活躍!



#### ミーティングルーム

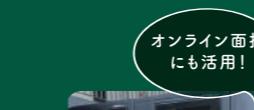
6室の予約制会議室(6名程度)。会議室ごとにコンセプトが違うので、気分に合わせてチョイス!



固めの打ち合わせは  
ここでしっかり議論



短時間の打ち合わせは  
ここでサクッと終わらせます



オンライン面接  
にも活用!

#### WEB会議ブース

#### カウンターゾーン

#### 2階席で眺めも良くて つい座っちゃう

#### チームミーティングゾーン

#### 個別学習ゾーン

#### 試験勉強は ひとりでおこもり^^\

#### ソファーでまったり



「コロナ禍を乗り越え協働して元気な飯塚市！」を掲げ、幸せを分かち合えるまちづくりに取り組んでいます。昨年は「飯塚市ブロックチェーン推進宣言」を発表し、エンジニアや学生と協働によるまちづくりも実施。貴重な経験だったと思います。

**Q1 九工大を選んだきっかけを教えてください**

ものづくりが好きで工業系を考えていた際、高校の先生に勧めていただきました。ちょうど私たちの時代から情報の授業が必修化されたこともあり、「情報工学」というワードに惹かれました。具体的に遊びたいことがあったわけではありませんが、他にはない学部でしたし、ワクワクするというか、時代のトレンドというか。飯塚という街のサイズ感や雰囲気も魅力でしたね。

**Q2 学部ではどんな事を学びましたか**

機械系や情報系の知識を幅広く学びました。卒業後に知ったのですが、一つの大学にこれほど多くの専門家の先生が在籍するのは、西日本でも九工大だけとか。そんな先生方の授業はどれも興味深く、とても楽しかったですね。

**Q3 インターンシップには参加しましたか**

熊本の化粧品会社に2週間行きました。印象に残っているのは、内部システムの業務効率化改善をテーマにした学生同士の討論会。私たち工学系は効率を求めがちですが、お客様のことを第一に考える営業志望の学生、多角的な視点をもつ学生など、さまざま考え方で、とても刺激を受けました。学生生活では味わえない「社会」を体験できた貴重な経験だったと思います。

**Q4 公務員を希望したきっかけを教えてください**

前述のインターンシップですね。「感謝を超えて、感動を目指す」つまり、感謝していただければ当たり前。その人の生活に変化を与えて、感動してもらえる仕事をしなさい」という役員の言葉が一つのきっかけです。それはエンジニアでも可能ではあるのですが、私は「喜んでくれる姿を直接目にしたい」と思つたのです。そういう意味で、人の暮らしに直結する市役所の仕事を選びました。

**Q5 出向先ではどのような業務に携わっていますか**

九州内の中小企業を支援することが仕事です。コロナ時代3年目を迎えて、変わりゆく経済社会に対応するために新たな販路獲得や事業転換を目指す企業も多く、国の支援策を通して、そのお手伝いをしています。その他、企業同士や産官学などの多様な連携による新しい技術や製品の開発なども支援しています。九工大的先生に委員になっていただき一緒に仕事をすることもあるんですよ。

**Q6 九工大で学んだことで現在役に立っていることは**

大学での幅広い学びが、技術への関心、気づき、理解を得るための基礎になっています。課外地域活動のネイチャースクールも大きいですね。年4回、地元小学生を集めて八木山でキャンプをするのですが、ここで経験や出会いは私が成長させてくれました。地元・熊本ではなく、飯塚市役所を志望したのも実は、そんな経験をさせてくれた飯塚に恩返しがしたかったからなんです。

**Q7 仕事のやりがいや将来やつてみたい仕事は**

インターンシップの時に聞いた「感謝を超えて、感動を目指す」ことができる点です。部署移動で仕事内容は大きく変わりますが、新たな気づきを与えてくれます。今回の出向もそう。経済のエキスパート集団のなかでの仕事は学びが多く、ここでの経験を飯塚に戻った際にしっかりと還元したいと思っています。技術をもつた九工大的学生たちが活躍できる場もつくっていきたいですね。

**Q8 九工大の学生に進路選びのアドバイスをお願いします**

コロナ禍で価値化されたのは、AーやI-O-T、ブロックチェーンなどの先端情報技術。そんな未来を支える技術を持っているのがみなさんです。九工大にはブランド力もあります。しっかり学んでいれば活躍する場は多くあります。ただ、その技術が社会にどう貢献するのかという視点も持つてほしいですね。そのためにも地域活動に積極的に参加して社会性を身につけてください。

**MY WORKPLACE**

**1 / 607**

**九州経済産業局**

経済産業省のブロック機関。総務企画部、国際部、地域経済部、産業部、資源エネルギー環境部にわかれ、「未来につなぐ、活力ある九州の実現」に向けて、経済産業省施策の総合窓口として九州の経済成長・発展に取り組みます。

**就職先のご紹介**

**飯塚市役所**

「コロナ禍を乗り越え協働して元気な飯塚市！」を掲げ、幸せを分かち合えるまちづくりに取り組んでいます。昨年は「飯塚市ブロックチェーン推進宣言」を発表し、エンジニアや学生と協働によるまちづくりも実施。

**出向先について**

**九州経済産業局**

Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry

九州経済産業局  
Kyushu Economic, Trade and Industry Bureau

# VOICE OF GRADUATE

卒業生インタビュー

Civil Servant

公務員



WORKPLACE

九州経済産業局  
(飯塚市より出向中)

大学時代に出会った言葉をきっかけに公務員を目指したという家入さん。飯塚市役所で11年間業務に携わったのち、この春から九州経済産業局へ。学生時代のこと、仕事のこと、後輩へのアドバイスまで伺ってみました。



## PROFILE

九州経済産業局  
産業部経営支援課

家入 雄一郎さん

IERI Yuichiro

2010年3月 情報工学科 機械情報工学科 卒業。  
2010年4月 飯塚市役所入庁。  
上下水道局、まちづくり推進課、産学振興課を経て、2022年4月より九州経済産業局へ出向。



## INFORMATION

九工大  
News

## 学生の開発したお絵描き LINE BOT が大人気に!

\*Stable Diffusion: AI×ターミナル企業  
生成AI。←が公開している画像

LINEの友だち追加



2022年8月29日、西野 風真さん（情報工学科 情報・通信工学科4年）の開発したLINE BOT「お絵描きばりぐっくん」がリリースされ、わずか1日で47万人の友だちを獲得する大人気になります。

「お絵描きばりぐっくん」は友だちになつて、文章で作画を依頼すると（例：馬に乗った宇宙飛行士の写真）、Stable Diffusion\*を使ってAIが作画して数秒ほどで結果を返してくれるとこへLINE BOTです。公開翌日に「ねむひせ」と取り上げられ、FacebookやTBS'AbemaTVなどでも放映されました。

荒木俊輔研究室に所属し暗号を研究している西野さんは、アプリ開発を行なう学生プロジェクト「Comet」の代表でもあります。これまでも様々なアプリを開発しています。大学に入ってからブログ「ミシハゲ」を学んだそうです。「九工大」はレベルの高い学生が周りについてとても刺激になる」と語ります。



例：馬に乗った宇宙飛行士の写真

## 九工大の取り組みをご紹介



### 組織内オンブズマン制度

#### を導入

様々な困りごとについて、中立性・非公式性・独立性・守秘義務を有するオンブズマンが対応し、その争いの解決を図る制度で、九工大で修学又は就労するすべての構成員が利用できます。

#### オンブズバーソンより一言

人間のつながりの中に争い、仲たがい、いやなものはあります。決して異常なことではありません。誰でも、どうぞおいても人間関係の調整に悩んでいます。オンブズマンは、「コーチングと調停技術で皆さんのが抱えていることのじや、争い、トラブルを解決していきます。



もっと知りたい



オンブズバーソン 宮武雅子氏  
慶應義塾大学法務研究科教授、  
ブレークモア法律事務所弁護士

春紙より

### 宇宙開発のミライを創造するロボットを研究開発

戸畠キャンパス 工学部機械知能工学科 永岡 健司准教授



「JAXA数年、世界的に民間企業の宇宙事業参入が相次ぎ、宇宙大競争時代に突入しました。そんな新時代のフローハイトア技術といえるのが宇宙ロボットです。地球周回軌道上での作業・月・惑星の表面上での科学探査において、これから宇宙開発に欠かせない、まさに士官「ひなんや」のタクノロジーなのです。

宇宙ロボット研究には、「宇宙開発を切り拓くためのロボット技術」と「ロボット技術によって切り拓かれる宇宙開発」があります。言葉は似ていますが、前者は「目的を実現するための技術を開発するのに比べて、後者は「今までにない技術で新しい目的を創造する」もの。私たちの研究室では、両方の視点で研究開発に取り組んでいます。例えばクラインニング・ロボット、これは月や火星にある地下洞窟を調査することを目的に開発したものですが、単に内部の様子を見るだけなら紐状のものにカメラをつけて吊るせばいいのですが、それではつまらない。断崖絶壁を上ったり、下ったりできれば応用性は高まります。さらに、特殊な宇宙環境で働く、つまり、地球上での自然災害や過酷な状況下でも使えるかを考えると、可能性はさらに広がります。宇宙ロボットの開発は難しいのですが、だからこそおもしろい。「こんなロボットがあつたらいいな」といったアイデアをもつた学生さんにきていただきたいですね。

宇宙ロボットを専門領域とした研究室は日本でもほんのわずか。ワクワクできるロボットと一緒に作りませんか？



国立大学法人

九州工業大学

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY